

企業版ふるさと納税を活用した事業について

1. 制度について

正式名称は『地方創生応援税制』といい、国の認定を受けて、地方自治体が行う地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。

地方創生事業に対して企業が寄附を行うことによって、地域の活性化がより促されることを目的としています。

2. 令和6年度寄附企業について

	寄附者	寄附金額	受領日
1	株式会社かわしまコーポレーション (本社：土浦市神立中央2-16-1)	198,990円 (物納)	令和6年7月19日
2	株式会社いっしん (本社：かすみがうら市稲吉2丁目18-15)	198,990円 (物納)	令和6年7月19日
3	株式会社セイコーマート (本社：札幌市中央区南9条西5丁目421番地)	200,000円 (現金)	令和7年12月26日

3. 寄附充当事業について

国の認定を受けた「石岡市まち・ひと・しごと創生推進計画」に沿った事業が寄附の対象となります。

(1) スケートボードパークにベンチを設置

令和6年7月にオープンした石岡駅東口の茨城電設スケボーパーク石岡（石岡スケートボードパーク）に、利用者や保護者の方が休憩するためのベンチを設置しました。

設置場所はスケートボードエリアと駅東駐車場の間の遊歩道エリアで、公園遊具エリアの利用者の方も利用できます。



(設置されたベンチ)



※ベンチには寄附者の銘板が付けられています

(2) 文化財保存キャビネットの設置

県指定文化財である鹿の子遺跡出土漆紙文書(※)を適切に保存するための専用キャビネットを購入します。

これにより貴重な文化財を後世へ伝える基盤が強化され、教育や研究活動にも活用が広がります。

※ 漆紙文書(うるしがみもんじょ)とは、国衙(役所)で書かれた文書が使用されなくなった後、漆を入れた容器の蓋紙として再利用されたものです。漆の成分により、紙が腐食しないで残ったため、赤外線カメラを利用することにより、表面の文字については全て読むことができました。

※イメージ図



(購入予定のドライキャビネット)

<使途内訳>

担当部署	購入品	購入数	配備先	金額
駅周辺にぎわい創生課	木製ベンチ	6基	茨城電設スケボーパーク石岡 (石岡スケートボードパーク)	397,980円 (相当額)
文化振興課	文化財保存キャビネット	1基	八郷総合支所複合施設	200,000円